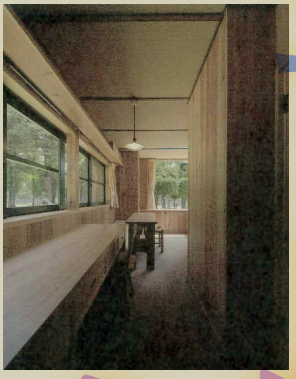
文化庁　平成24年度 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業(ミュージアム活性化支援事業)

ひろがる
Saitama Art Platform 形成準備事業



詩人の夢の家
ヒアシンスハウス

芸術家コロニイの夢
グルグルハウス

部屋を着る

音を灯す

おどりを編む

かいじゅうたちのいるところ

越境せよ！
撹拌せよ！
アートプラットフォームへ

SMFああっと！ファクトリー

共鳴する空間 ―詩・美術・建築・音楽・ダンス―

2012年10月31日(水)→11月4日(日)

10:00~17:30(最終日は16:30まで) 埼玉県立近代美術館 地階「一般展示室1」

主催:Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会、埼玉県立近代美術館
協力:SMF、ヒアシンスハウスの会、ダンスユニット転々、東京電機大学理工学部「作曲・音楽文化研究室」、埼玉詩人会、日本建築家協会埼玉地域会、グルグルハウス ほか
問合せ:Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会事務局(埼玉県立近代美術館内) tel:048-824-0110(中村) e-mail:SMF.info@artplatform.jp

SMF は身近な場所でアートを享受し支援し再創造するプラットフォームをめざしています。
http://www.artplatform.jp

SMF Saitama Muse Forum

文化庁　平成24年度 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（ミュージアム活性化支援事業）

ひろがる
Saitama Art Platform 形成準備事業

SMFああっと！ファクトリー

共鳴する空間 ―詩・美術・建築・音楽・ダンス―
2012年10月31日（水）～11月4日（日）

10:00～17:30（最終日は16:30まで） 埼玉県立近代美術館 地階「一般展示室1」

詩・美術・建築・音楽・ダンスなど、さまざまなジャンルの関係者が集う「SMF（Saitama Muse Forum）」は、「身近な場所でアートを享受し支援し再創造するアートプラットフォーム」の形成をめざしています。2007年に「ヒアシンスハウスの会」の活動を母体として生まれたSMFは、2008年の《アート竜巻フェスタ》以降、埼玉県立近代美術館などの県内5つのミュージアムを中心に、公園やまちでの試みも含めて、県内各地で多彩なアートプログラムを展開してきました。

このたびの「SMFああっと！ファクトリー」は、このようなSMFの特色を活かして、詩・美術・建築・音楽・ダンスなど、さまざまなジャンルで活動する個人・団体が、ジャンルの垣根を越えて協働し、驚きと発見のある新たな場を創造しようとする試みです。会場空間は、大きく分けて以下の3つの要素から構成されています。

1　詩人・建築家で「芸術家コロニイ」を構想した立原道造のパステル画や「ヒアシンスハウス」関連展示
2　立原道造の詩を題材にした「グルグルハウス」の美術家9名による美術作品展示
3　「部屋を着る・音を灯す・おどりを編む」と題された建築・音楽・ダンスのコラボレーション展示・ワークショップ

会期中には、展示会場で、詩の朗読やダンス発表会なども予定されています。あわせてお楽しみください。今秋開館30周年を迎える埼玉県立近代美術館は、これからもさまざまな出会いと交流、創造のひろばとしての役割を果たしながら進んで行きます。

立原道造とヒアシンスハウス

ヒアシンスハウスは、詩人で建築家でもあった立原道造が昭和12年冬から翌年春にかけて別所沼畔（さいたま市南区）に建てようと構想しながら、立原自身によっては実現に至らなかった小さな週末住宅です。2004年に、多くの市民や企業、行政の協調のもと、別所沼公園内に建てられました。

立原は、「浅間山麓に位する藝術家コロニイの建築群」と題した卒業設計を構想していますが、昭和初期の浦和市郊外（別所沼周辺）には多くの画家が住み、「鎌倉文士に浦和画家」とも呼ばれ、一種の芸術家村の様相をみせていたと言われていることから、《芸術家コロニイ》を構想した立原は、自ら住まう週末住宅の敷地として別所沼畔を選んだのではないかと推察されます。

展示では、立原のパステル画のほか、建築図面、ヒアシンスハウスの模型や椅子などから立原道造の建築空間に迫ります。また、《芸術家コロニイ》の夢を継承し、地域の文化活動の拠点とするべくヒアシンスハウスを運営している「ヒアシンスハウスの会」の活動も紹介します。11月4日には、埼玉詩人会による詩の朗読会が開催されます。奮ってご参加ください。

企画・構成：北原立木・佐野哲史・高橋博夫・登芳久

グルグルハウス 出品アーティスト

伊東茂広 *ITO Shigehiro*／今井伸治 *IMAI Shinji*／井山紘文 *IYAMA Hirofumi*
川瀬雅子 *KAWASE Masako*／近藤リナ *KONDO Rina*
白濱雅也 *SHIRAHAMA Masaya*／高島芳幸 *TAKASHIMA Yoshiyuki*
服部 誠 *HATTORI Makoto*／堀部宏二 *HORIBE Koji*

「それでもつくり続けているんだよ」

子どもたちへ

価値の基準って何だろうね。だれが決めるんだろうね。少し前の時代に日本の土地はとても高くなって、株も今では考えられないくらい上がって、バブルって言ったんだけど、その時日本の大人たちはみんなお金がたくさん儲かってとても浮かれていたの。でも、そのバブルがはじけてシャボン玉は消えちゃったんだ。後は、みんなもなんとなく知ってると思うけどお金が無くなっちゃって今は大変だね。人間っておかしなことしてるよね。自分たちで価値決めて自分たちで壊しちゃって……、ひょっとしたらその価値は本当に人間に必要じゃないものだったのかもね。でもね、みんなが浮かれてるころからずーっと別のこと（お金儲けじゃないよ）やってた人たちがいたの。じつは、おじさんたちもそうだったの。絵を描いたり、彫刻つくったり、ホントばかみたいに自分の作品をつくり続けていたの。全然バブルじゃないし、お金無いし、何がそうさせたんだろうね？

今とても幸せだよ。自分たちは価値をつくってないんだ……、いやいや本当はすごい価値（お金じゃない、みんなに必要な）をつくっているのかも。かっこよすぎるか!アキ普遍、多様、画一化、個性、今までいろんな人がいろんなこと考えて生きてきたけど、いつの時代も結局人間ってそんなに変わらないんじゃないかな。だからおじさんたちはつくり続けているんだよ。変わらない何かを探して、長い時間のホンの一瞬の中で。

伊東茂広
（2010年7月埼玉県立近代美術館での「グルグルハウス」展チラシより再録）
＊グルグルハウスはさいたま市郊外にある共同アトリエの名称です。（見沼区大谷169-1）

建築・音楽・ダンスのコラボレーション

建築、音楽、ダンスの3つのワークショップがコラボレーションします。**〈おどりを編む〉**（ダンス）では、ダンスを創作してその空間を一層ダイナミックに変容させます。**〈部屋を着る〉**（建築）では、会場内の空間をデザインしている素材を自由に動かして、心地良いと感じる空間を作ってみてください。**〈音を灯す〉**（音楽）では、サウンドモンタージュワークショップの参加者や会場を訪れた人々の声や物音、グルグルハウスのアート作品制作の音など、あらゆる音が展示されます。

空間、ダンス、音楽のダイナミックなコラボレーションを共に創り出しましょう！

創作ダンスワークショップ「かいじゅうたちのいるところ」
発表会 11月4日（日）15:30～

企画・構成：青山恭之、柴山拓郎、藤井香、三浦清史